

 いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

平成最後の年は

趣味はと聞かれたら、第一に家庭菜園と花づくりと答えます。年間通して色々な野菜や花を種から苗立てをして育てるのですが、50年以上色々な物を育てて、トマトが良かったらレタスが思うように育たなかったり、野菜や花が思うように全てが一緒に育った年は一度もありませんでした。それもそのはず、全ての野菜や花は、各々に水を好む物、乾燥を好む物、適宜な水と乾燥を好む物があり、また、高温を嫌う物、低温を嫌う物、日差しを好む物、半日陰を好む物と、育てる対象物一つ一つが異なり、小さな畑にて同一条件で育てるので、全てが満足のいく物とはならないのが当然ですね。相談コーナーにお寄せいただく問いに「キュウリは光沢もよくまっすぐ伸び、数もたくさん採れたのですが、トマトが数少なく色づきも悪いのはなぜですか、堆肥や肥料も同じに与えているのですが」と言う問いが、多くあります。この原因の一つに、始めに述べた天候が大きく関わっていると思われます。生き物を育てるには、妥協することも大切だと思います。平成最後の年は、丹精込めた野菜や花が順調に育つことをご祈念いたします。(ながやす)

あけましておめでとうございます。

今年も植物から元気ももらい良い一年をすごしましょう！この相談コーナーには植物に関するいろいろな相談がありますが、一つ一つ相談者と一緒に考えながら解決できればと思います。どうしても一般的な回答になりがちですが、生育相談などはそれぞれのお宅の環境など伺いながら、有用な回答ができればと思います。(きのした)

春の七草

1月7日の朝に、7種の野菜が入った「七草粥」を食べると邪気を払い万病を除くと古くから言い伝えられてきた風習があり、この七草粥に用いる7種の野菜(草)を「春の七草」といいます。「せりなすな・御形(ごぎょう)はこべら 仏の座(ほとけのざ) すずな すずしろ これぞ七草」すずなは蕪(かぶ)、すずしろは大根のことです。ごぎょうは母子草のことで、はこべらはハコベのこと。なすなはぺんぺん草といったほうがおわかりの方もいると思います。仏の座ですがこれはキク科のタビラコのことです。春に道端や畔で赤紫の花をつけるシソ科のホトケノザではありません。シソ科のホトケノザは食用にはなりませんのでまちがわないように。(いとう)

「何じゃ、この木は」

この辺りでは見かけないな。それもそのはず、モクセイ科のヒトツバタゴは長崎県対馬、岐阜・愛知県の一部に限られた地域だけに隔離分布している落葉性亜高木で、それ以外のところでは知られていません。俗名のナンジャモンジャは、「何じゃ、この木は」が転じたことに由来する?とされています。岩見沢で試したところ、5月中旬、枝先に10センチほどの集散花序をつけ、近縁のアオダモのような白い花をびっしりと咲かせます。なお自生地では絶滅危惧種、国の天然記念物に指定されています。(かわはら)



「今月の便り」次ページへつづく⇒

お正月と門松

門松は江戸時代以前より、年神様をお迎えする依代として、五穀豊穡、商売繁盛、家内安全を願い、門口や庭先、ときには室内にも立てられました。その名の通り門松と言えばマツですが、カシ、タケなどと組み合わせることもあります。地域によってその形態は変わり、時代によって変化もしたと考えられます。子供の頃のお正月飾りは、父が門松を設置し神社でお札を頂き、元旦の朝はお節料理を頂く前に、お年玉と健康祈願で一年の始まりでした。伝統行事も年々簡素化されてる傾向ですが、今年もどうか穏やかな一年で有りますように。

(たかはし)

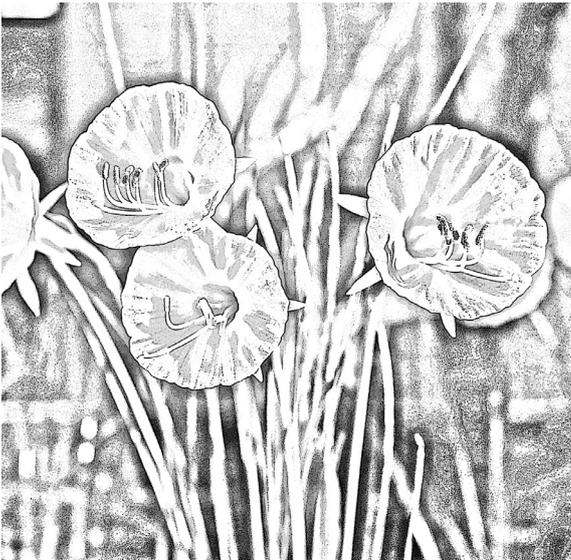


バラ園

色彩館のつるバラの管理作業が続きます。早いものだと下旬ごろから芽吹き、来月には一等賞の花を咲かせますよ。大温室では3月中旬ごろからGWごろまでバラを観ることができます。



室内公園 色彩館



今月の開花情報

ナルキスス ロミエウクシー

Narcissus romieuxii

ヒガンバナ科スイセン属

分布：北アフリカ地中海沿岸

副冠という花卉の内側にある弁状の部位が、この花ではラッパのようになっているところにあたります。ガクのように見えるところが花卉です。スイセンの仲間ですが、花丈は20cmほどで葉は針のように細く華奢で可憐。ぴゅんぴゅん、と飛び出す蕊がなんとも愛らしいです。レモンイエローの花を咲かせ、色彩館の新春に華を添えています。

【知恵袋】紅葉

外気温が下がってくると、野山が紅葉しとても綺麗ですね。紅葉の代表的な色と言えば、モミジの赤色とイチョウの黄色ですね。では、外気温が何度位になると紅葉が始まるのでしょうか？

1 日の最低気温が 8℃以下になると紅葉が始まり、5～6℃以下になるとぐっと進むといわれています。鮮やかに紅葉するには、日中の気温は 20～25℃で夜間 5～10℃になり昼夜の気温の差が大きいこと、空気が澄んで葉が充分日光を受けられることや、大気中に適度な湿度があって葉が乾燥しないことなどが重要です。

チョット
いっぷく



ひとつき ひとバラ



文・イラスト：田中 伸枝
(いわみざわ公園バラ園)

番外編

その表記、 間違ってる・・・？



当園に限らず、園内に掲示している樹名板などを見て「あれ？この品種名違う？」と思ったことはありませんか？そんな経験がある方はご一読いただき「ふ～ん」となんとなく心に留めていただけると嬉しいです。昨年 11 月に『バラ園管理ネットワーク会議』が当園で開催され、全国のバラ園管理者が集まってバラの管理やバラ園の運営について意見交換などを行ったときも、意外と議論が白熱したのが、バラの品種名のカタカナ表記についてでした。今回は番外編、品種名の表記やあれこれについて少し書きたいと思います。

新しいバラができたら、特許（パテント）登録をします。よく「パテントを取る」とか「パテントが切れている」など聞いたことがあるかもしれません。種苗法といって、パテントが有効な間（登録されてから 30 年）は品種が保護され、他者が勝手に増殖したり販売したりすると法律で罰せられます。（個人の趣味の範囲でも同様ですのでご注意ください！）パテントを直訳すると特許ですが、曲などの著作権のバラ版みたいな感じに思っただけだと分かりやすいような気がします。その際の登録名（registration name）は、数字だったりアルファベットの羅列であったり記号のような名前が付くことが多いです。そして新品種発表をするときの名前が一般に流通するときの品種名になるのです。展示名：Exhibition name と言ったりします。その名前は、作出国などによってさまざまな言語が使われ、流通する国によっては全く違う名前が流通する場合もたくさんあります。英語もあればフラン

ス語・ドイツ語等々…日本語もちろんあります。たとえば Iceberg の場合、Schneewittchen® などの別名を持ち、登録名は KORbin となります。

このバラの品種名、昔の日本ではもっと複雑でした。明治時代になってバラが輸入されるようになると、なぜか本来の品種名を無視して独自の名前を付けていたのです。たとえば、ハイブリッドティー第 1 号で有名な 'La France' は“天地開”、'New Dawn' の親で有名な 'Dr. W. Van Fleet' は“彩龍”“月影”など、脈絡があるようなないような…个性的で日本情緒ただよう（？）名前が付けられていました。それが原因で本当の品種がどれだか分からなくなったりと混乱したため、日本名を付けるのを廃止し必ず原名を入れることになりました。皆に親しんでもらうために、よかれと思って可愛い名前を付けたのでしょうが、ちょっと大きなお世話だったかもしれませんね。

余談が長くなりさらに話は戻りますが、要するにカタカナ表記は単なるフリガナ、外国語がそう聞こえるから日本語に起こしただけなのです。ですので多少の表記ゆれは大目に見ていただきたいなと思います。また、記載する側としても「このバラはこういうバラだから、こういった表記がふさわしい」なんてこだわりがある時があったりなかったり…みたいです。不思議に思ったことは詳しい人に訊いたり、自分でその品種のことを調べてみると、バラの鑑賞がさらに楽しくなると思いますよ！ですが、明らかなスペルミスや誤字脱字は「こっそりと」スタッフに教えてください（笑）

第10回

入場無料

いわみざわ洋らん展

日程

2019年2月21日(木)~
2月24日(日)

時間：9:00~17:00(最終日は16:00まで)

場所：いわみざわ公園バラ園内
室内公園 色彩館ロビー

第10回
記念!
プレゼント企画
実施予定!

出展募集

丹精込めて育てたあなたの一鉢を出展して、
会場をランの花園にしてみませんか?
出展料は何点でも無料です。

お申し込み：2月16日(土)までに
洋ラン愛好会 秋葉さん
(0126-56-2110) まで

最終日
2/24(日)は
講習会も
あります

今月の市民園芸講座のご案内

●1月13日(日) 13:00~15:00

折バラを楽しもう 中級

料金：無料 定員：15名

講師：バラ園スタッフ

●2月17日(日) 13:00~15:00

折バラを楽しもう 上級

料金：500円 定員：5名

講師：バラ園スタッフ

●2月24日(日) 13:00~15:00

洋ラン栽培の楽しみ方

料金：無料 定員：40名

講師：川面 豊樹さん えるむ花園

これは面白い!

